

処遇改善に関する加算の職場環境等要件

区分	職場環境要因の項目	当法人の取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方法、その他実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人の基本理念・基本方針・事業計画を各事業所に配布し、入職時に理事長より説明している。
	他業種からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	無資格者・未経験者の採用や、未経験者にも対応した新人教育を実施している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加等による魅力度向上	自治体の主催するイベントで福祉の仕事PR・相談会を実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	初任者研修事業を実施し希望する職員が受講することができる。入職3年目を対象として中堅職員研修を実施している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	定期的または必要に応じ所属長による職員面談を実施し、キャリアアップについての相談を受け付けている。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託施設の整備	育児休業、介護休業制度を導入している。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談対応体制の充実	書面、メール等による相談窓口の他、臨床心理士によるメンタルヘルス相談を常時受けれる体制を構築している。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや従業員のための休憩室の設置等健康管理体対策の実施	パート職員を含む全職員の健康診断を実施している。全事業所に休憩室を設けている。
	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	管理者を対象とした社会保険労務士による研修を実施している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取り組み	「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築	生産性向上の為にICT活用委員会を実施している。
	現場の課題の見える化を実施している。	「何でも提案制度」を実施。提案BOXに現場で感じている課題や改善点を投函してもらい、課題を共有し、フィードバックをしている。
	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	見守りセンサーカメラ、スマートフォン端末を整備し巡回業務の改善を実施している。
	高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化	高齢者等を送迎運転手として雇用することで、介護職員の介護業務以外の業務負担が軽減している。
	業務手順書の作成や記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	業務マニュアル等を作成し、業務手順等を共有している。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	事業所ごとにミーティングを行い、職員間のコミュニケーションの円滑化を図っている。ミーティングの記録を各事業所に回覧している。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーションに資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域の保育園、幼稚園、中学校と定期的に交流会を実施している。